

富里市DX推進指針【素案】に対するパブリックコメントの結果について

富里市DX(デジタルトランスフォーメーション)推進指針【素案】について、ご意見を募集した結果、2名から3件の意見が寄せられました。

寄せられましたご意見の趣旨とこれに対する市の考え方は下記のとおりです。

○パブリックコメント手続実施結果の概要

募集期間	令和8年1月8日(木)～令和8年1月28日(水)
意見提出者	2人
意見件数	3件

○寄せられた意見の趣旨と市の考え方

番号	該当ページ	意見の趣旨	市の考え方
1	素案全体	<p>SBG(ソフトバンクグループ)の「AGENTIC STAR」は、自律型AI エージェントプラットフォームで、業務ゴールを理解し、タスクを自動実行する SaaS サービスです。LINE ミニアプリにこれを適用すれば、LINE ユーザー9,000 万人超の基盤で AI エージェントを活用したサービスが低コストで実現可能です。以下に、実装適用企画案を 5 つ挙げます。各案は、LINE Developers Console (Messaging API + LIFF SDK) と AGENTIC STAR の API 連携を基盤とし、n8n や FastAPI で Webhook 統合を想定しています。</p> <p>企画案 1:自治体 DX 支援エージェント (富里市向け) 富里市 DX 指針の「市民サービス便利化」と連動した LINE ミニアプリを構築。 市民が LINE で「マイナンバーカード申請」と入力すると、AGENTIC STAR エージェントが必要書類を自動確認・生成し、オンライン申請をガイド。 eL-QR 生成や予約リマインドを自律実行 (Web 検索ツール活用)。デジタルデバインド対策として音声入力対応。 効果:取得率向上、窓口負担減。導入コスト:開発パッケージ活用で半額。</p> <p>企画案 2:地域金融相談エージェント SBG の金融ノウハウを活かし、LINE で個人向け資産相談アプリ。 エージェントがユーザー入力(「投資相談」)から市場データ検索・ポートフォリオ提案を自動化 (80 種ツールで資料作成)。 暗号資産や ETF のリアルタイム分析、eL-QR 納付連</p>	<p>ご意見のありました、内容は推進する上での企画案と考えます。 今回の素案は、DX 推進の基本的な方向性と考え方を示すものとしておりますことから、案のとおりいたします。</p>

		<p>携。人的確認が必要時は担当者に Slack 通知。 効果：9,000 万ユーザーアクセス、コンバージョン率向上。</p> <p>企画案 3:小売・飲食予約エージェント サイバーエージェント事例を拡張した順番待ち・予約アプリ。 LINE QR 読み込みでエージェントが店舗混雑予測・予約挿入を自律実行。リマインド通知を Service Message でプッシュ。 AGENTIC STAR で在庫確認やクーポン生成を自動化。 高齢者向けスマホ教室連動。 - 効果：離脱率低減、購買促進。MAU1,680 万人活用。</p> <p>企画案 4:内部業務効率化エージェント 富里市「行政経営効率化」向けバックオフィスアプリ（社内限定）。 LINE グループで「報告書作成」と入力→エージェントがデータ集約・AI 生成（RPA/OCR 連携）、電子決裁自動化。 テレワーク支援で Web 会議スケジュール調整。セキュリティ：個人情報マスキング・監査ログ。 効果：ペーパーレス推進、業務時間 30%短縮。</p> <p>企画案 5:地域活性化オープンデータエージェント 富里市「地域社会元気」方針に沿ったデータ活用アプリ。 エージェントがオープンデータからイベント提案・参加登録を自動化（画像/動画生成ツールでプロモ作成）。 デジタルデバイド対策：高齢者向け音声対話。LINE 通知で参加促進。 効果：地域課題解決、データ活用環境構築。</p> <p>これらの案は、AGENTIC STAR のマルチエージェント機能で拡張可能で、5 分セットアップの AI ツール（例:Match AI）と組み合わせると運用が容易です。 実装フロー：LINE Developers でミニアプリ作成→AGENTIC STAR API/Webhook 連携→テストデプロイ</p>	
2	素案全体	<p>トヨタのポイント経済圏（トヨタアカウント統合・トヨタウォレット）を富里市 DX 推進指針に適用した企画案を、モビリティ・生活サービス・データ活用の観点から提案します。富里市の人口減少・少子高齢化対策として、LINE ミニアプリやマイナンバーカード連携を活用し、市民起点のスマートシティ化を加速させます。</p>	<p>ご意見のありました、内容は推進する上での企画案と考えます。 今回の素案は、DX 推進の基本的な方向性と考え方を示</p>

	<p>モビリティサービス統合 MaaS ポイント還元プログラム:富里市内バス・シェアサイクル・EV カーシェア利用でトヨタウォレットにポイント付与。マイナンバーカードで本人認証し、LINE ミニアプリから eL-QR 納付・ルート予約を一括。DX 指針の「市民サービス便利化」と連動し、フロントヤード改革を推進。</p> <p>地下物流・配送連携: 市内物流拠点(成田空港近接活かし)で自動配送サービスをトヨタ e-Palette 導入。荷物受け取り時に QUICPay/トヨタウォレット決済でポイント還元。高齢者向け「書かない窓口」代替としてデジタルデバインド解消。</p> <p>スマートホーム・生活サービス スマートホーム課金ポイント化:富里市住宅にダイキン空調・家事ロボットを標準導入し、使用量をトヨタアカウントで課金・ポイント還元。健康データ(歩数・睡眠)を紐付け、介護保険料割引に活用。DX 指針の「地域社会元気」方針で高齢者見守り強化。</p> <p>地元企業コラボ経済圏:ENEOS 水素ステーション・地元農産物直売所と提携し、クロスポイント交換。太陽光余剰電力の P2P 取引をトヨタブロックチェーンで実証し、オープンデータ公開で地域活性化(DX 指針方針 3 対応)。</p> <p>データ駆動パーソナライズ 市民行動分析サービス:トヨタアカウントで移動・行政手続履歴を収集し、AI (AGENTIC STAR 連携)でパーソナライズ提案(例: 病院予約・補助金申請自動化)。ポイントでオンライン手続有料オプション購入促進、バックヤード改革を支援。</p> <p>市民フィードバック報酬:DX 推進員向けテスト参加でボーナスポイント付与。LINE ミニアプリで市民アンケート収集・分析し、総合計画見直しに活用。セキュリティポリシー準拠でデータ保護徹底。</p> <p>これらの案は、富里市 DX 本部 (CIO 主導) とトヨタの協業で Phase1 (2026 年内実証) から展開可能。初期投資をポイント還元で回収し、持続可能な経済圏を構築します。</p> <p>導入ロードマップ Phase1: 準備・パイロット (2026 年 4 月～9 月) 富里市 DX 推進本部がトヨタと協定締結後、マイナンバーカード保有者 500 名を対象に LINE ミニアプリを</p>	<p>すものとしておりますことから、案のとおりいたします。</p>
--	--	-----------------------------------

公開。トヨタアカウント連携テストを実施し、バス・EV シェア利用でポイント付与を開始。高齢者スマホ教室でデジタルデバイド対策を並行推進。初期投資：システム連携費 500 万円（トヨタ補助想定）。

Phase2:本格展開（2026 年 10 月～2027 年 3 月）
全市民対象に拡大。eL-QR 納付とスマートホーム（空調課金）を統合し、月間アクティブユーザー（MAU）1 万人目標。地元企業 10 社とクロスポイント提携。市民フィードバックでアプリ改善を月 1 回実施。

Phase3:スケール・最適化（2027 年 4 月以降）
オープンデータ公開と AI パーソナライズをフル稼働。ブロックチェーン P2P 電力取引を成田空港近接エリアで実証。総合計画に経済圏を明記し、全国自治体へ水平展開。

KPI 設定

|分野|KPI 指標|Phase1 目標|Phase2 目標|Phase3 目標|

|モビリティ|MaaS 利用率|20%|50%|80%|

||ポイント還元額|100 万円/月|500 万円/月|2,000 万円/月|

|生活サービス|スマートホーム契約数|100 世帯|500 世帯|2,000 世帯|

||クロス提携店舗数|3 店舗|10 店舗|30 店舗|

|データ活用|データ収集率（市民）|10%|40%|70%|

||フィードバック参加率|15%|30%|50%|

|全体|MAU|500 人|1 万人|3 万人|

||業務効率化率（DX 指針）|-|20%向上|40%向上|

||ROI（投資回収）|-|1.5 倍|3 倍|

測定方法:トヨタアカウントダッシュボード+LINE ミニアプリアナリティクスでリアルタイム追跡。セキュリティ監査を四半期ごと実施。

期待効果・リスク対策

効果:年間ポイント流通 1 億円規模で地域 GDP 押し上げ。高齢者定着率 15%向上、行政コスト 20%削減。トヨタ Wallet 手数料で継続収益確保。

リスク対策:

データプライバシー:マイナンバー準拠暗号化+市民同意取得。

導入抵抗:DX 推進員主導の無料セミナー。

技術障害:トヨタガバメントクラウド活用で 99.9%稼

働率。

このロードマップで富里市は「スマート自治体」のモデルケースとなり、全国展開可能です。

実装予算試算

総投資額:初年度 3,500 万円 (トヨタ補助 20%想定で純負担 2,800 万円)。

内訳:

システム開発・API 連携:1,200 万円 (LINE ミニアプリ+トヨタ Wallet 統合、AGENTIC STAR 活用)

ハードウェア導入:1,000 万円 (EV シェアサイクル 10 台、スマートホームキット 100 世帯分)

運用・教育:800 万円 (DX 推進員研修、高齢者スマホ教室 20 回)

マーケティング:500 万円 (市民向け LINE プッシュ通知、地元企業提携)

収益モデル:トヨタ Wallet 手数料 (取引額 1%) + クロス提携手数料 (店舗 5%) で第 2 年黒字化。ROI 3 倍見込み。

パートナー選定支援

|分野|推奨パートナー|役割・メリット|連絡先提案|
|モビリティ|トヨタ/ENEOS|EV シェア・水素ステーション|富里市 CIO 経由トヨタ地域連携窓口|

|生活サービス|ダイキン/地元 JA|スマート空調・農産直売|成田空港近接企業ネットワーク活用|

|データ活用|SoftBank (SBG) /NTT|AGENTIC STAR・オープンデータ基盤|LINE 公式アカウントで共同セミナー|

|決済・セキュリティ|QUICPay/NEC|eL-QR・マイナンバー認証|総務省 DX 補助金共同申請|

|地域活性|NAA|物流・観光コラボ|富里市商工会議所紹介|

選定基準:DX 指針準拠 (セキュリティ・デジタルデバイス対応)、成田空港近接シナジー、トヨタエコシステム互換性。優先交渉:トヨタ (基幹) →SBG (AI) →地元企業 (信頼性)。

次ステップアクションプラン

1. 1 ヶ月以内:DX 本部でトヨタ/SBG と事前協議。補助金 (総務省 DX 推進交付金) 申請。

2. 3 ヶ月以内:パートナー3 社契約、プロトタイプ開発 (MaaS ポイント機能)。市民 100 名 β テスト。

		<p>3.6ヶ月以内:Phase1 ローンチ。KPI 月次レビューで最適化。</p> <p>富里市は成田空港隣接の立地優位性を活かし、全国初の「空港×スマートシティ経済圏」を構築可能。</p>	
3	<p>素案 P.1 4 指 針の 対象 期間</p>	<p>意見の内容 指針の実効性確保に向けた評価プロセスと進行管理の明確化について</p> <p>富里市がDX推進によって「利用者起点」のサービス改革を目指すという基本方針には強く賛成します。しかし本指針のP.1 4 指針の対象期間において定量的指標やスケジュールありきの内容ではなく、指針の対象期間は定めず。とされている点については行政計画としての実効性に強い懸念を抱きます。</p> <p>目標数値や期限がない計画は、進捗管理が曖昧になり結果に対する検証が不可能となる恐れがあります。技術革新の速さに柔軟に対応する必要性は理解しますが単年度ごとのアクションプラン(実行計画)の策定や毎年度の達成状況の公表を行うプロセスを明記しPDCAサイクルが確実に回る仕組みを指針内に規定することを要望します。</p>	<p>ご意見のありました、PDCAサイクルを回す仕組みを指針内に規定することに関しましては、推進する上での実行管理は極めて重要だと認識しております。</p> <p>現在、本市では「市政策実行計画」を最上位の実行管理の柱と位置付けており、DXに関する具体的な施策や予算なども一体的に議論し、PDCAサイクルを回す仕組みとしています。</p> <p>今回の素案は、DX推進の基本的な方向性と考え方を示すものとしておりますことから、案のおおりといたします。</p>